

# DJは81歳

## 浦崎さん、リスナーから力

19日は敬老の日。お年寄りの長寿を祝い、地域や家庭が喜びに包まれた週末、81歳の浦崎政克さんは、那覇市のコミュニティ放送局、FMレキオ（80・6MHz）で最高齢DJとしてマイクの前に座った。44年前の警察官時代、交通事情を12年間、ラジオで発信。2年前、約30年ぶりにラジオへ復帰した。穏やかで澄んだ声がリスナーの心にスッと溶け入り、浦崎さんの目を通して那覇情報が評判を呼んでいる。

（與那覇里子）＝1面参照



## 警官時代から30年ぶり

担当番組は「めんそーれなはのまち」。毎週土日の正午から、那覇市牧志のFMレキオてんぶすスタジオで公開生放送を担う。天気や交通事情のほか、新聞で気になった記事を浦崎さんの視点で発信する2時間だ。警察官を退職後、土産品などを扱う会社社長となり、今も国際通り県庁前商店街振興組合の理事長も務めている。

80歳を超えても第一線で活躍できる秘訣は、面白い出来事や日常の気付きをノートにつづり、不確かな事象や興味深い話題はさらに文献で調べる探求心と好奇心。「忘れっぽいけど、メモしておけば大丈夫。ノートの数は数え切れないよ」と相好を崩す。「81年間、一度も風邪をひいたことがない」という自慢の体は30年間、奥武山公園でのジョギングで築いている。年間350日とほぼ毎日7キをウォーキングとランを織り交ぜ、500キは後ろ歩きで汗を流すという。「後ろに歩くと、感覚も研ぎ澄まされる」と独自の健康法で体調を整える。

リスナーに優しく那覇の情報を語り掛ける81歳の浦崎政克さん。17日、那覇市のFMレキオてんぶすスタジオ

敬老の日の取材に対しては、「そうだっけ。年齢は若く書いてねー」とちゃめつけたつぶり。「団塊の世代ももう65歳。高齢化社会だからこそ、若い世代に伝えるべきことはたくさんある。記録も残して、話していきたい。知らなかった、聞いて良かったの声が活力だよ」。81歳の挑戦はまだ続く。